

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 1月18日(木) 発行人：校長 森内 秀学

「思い」を「かたち」に

1月10日の朝のことです。2年生の西村亮汰さんと児童玄関で会うと、彼は急にこう言いました。

「校長先生、石川県で地震とかあっているから、時津小でも募金とかしたいんですけど。」

2年生の子どもです。私はびっくりしました。そして、「おお！いいねえ、分かった！JRC（日本赤十字活動）担当の野中先生に言っとくよ。」と言いました。

翌日の朝。また西村さんに会いました。開口一番、「校長先生、どうなりましたか。」私が「ちゃんと伝えたよ。」と答えると、「よし！」と言いました。本気なのです。私は嬉しくなりました。そして、知らない土地の知らない人のことを、自分のことのようにおもんばかりの2年生の子どもの姿に、大変感動しました。

西村さんの思いを受け、野中先生がJRC委員会の子どもたちと相談し、早速火曜日から動き始めたところです。そういえば、以前、ACジャパンのこんなCMがありました。

「こころ」はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど 「思いやり」はだれにでも見える

【行為の意味】宮澤章二

子どもの「思い」を教師が「かたち」にする。素敵です！今後の動きにご期待ください。

カナリーステージイン低学年の部開催！



大雨で延期されていた標記の会が、このほど無事に開催されました。



演奏してくださったのは、「メロディー」という歌とピアノとファゴットのアンサンブルグループ。なじみの曲を美しい声と演奏で聞かせてくださいました。本物の音楽をよい音響で聞くのは、本当にいいですね。

子どもお悩み相談所（仮称）開設へ



「Cozy Roomを手伝う人が足りなくて聞きましたけど、私たちに何かできることはないですか？」

そんな優しさにあふれた言葉をかけてくれたのは、左の二人。2学期の終業式でした。

そこで思いついたのが、「子どもの悩みに子どもが寄り添う」標記のアイデア。相談箱に悩みを書いて入れてもらい、休み時間に対応したり、教師につないだりします。早速、カウンセラーから寄り添い方を勉強しました（上）。現在、開設準備中です！